

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
平成30年 6月15日（金）
- 2 確認箇所
滞留水移送ライン(3号HPCI移送ライン)周辺(3号機原子炉建屋西側)
- 3 確認項目
滞留水移送ライン(3号HPCIライン)周辺における漏えい検知器改善状況
- 4 確認結果の概要
平成28年から平成29年にかけて、漏えい検知器を格納している容器内部の結露や雨水の流入による漏えい検知器の誤作動が頻発した。このため、東京電力は、容器の内側への防露材の貼り付け及び点検窓の設置の各対策を講じたことから、そのうち1カ所の対策状況を確認した。
 - ・漏えい検知器を格納している容器は、金属製であり、内部確認用の小窓が設置されていた。また、内部に雨水等が入り込まない構造であった。
 - ・東京電力によると、容器内部には防露材を貼り付けたとのことである。また、対策は平成29年5月までに終了したとのことである。



(写真1)
漏えい検知器を格納している容器



(写真2)
容器を正面から撮影

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。